



平成二十九年三月二十日

皇紀2677年
(西暦2017年)
第143号

発行：淀姫神社社務所
〒859-4501
松浦市志佐町浦免632
TEL・FAX 0956-72-0653

時折寒の戻りもありますが

すっかり春本番になりました

これを書いているのは三月の二十日です。

朝晩は時々ひんやりすることもありますが、日中は気温も上がってきて、昼間は過ごしやすい今日この頃。動くと汗ばむ日も増えました。

見渡すと、あちこちでいろんな花が咲き始め、風景はすっかり春の色です。境内でも、木蓮や椿の花が満開に咲いています。桜も日に日につぼみを膨らませていて、いつ咲くかと時機をうかがっているようです。

この号が皆さまのお手元に届く頃は、桜も咲いて見頃を迎えているかも知れませんがね。

この時期は、新しい年度の始まりということもあり、生活環境が変わったり、新しいことが始まったりして、ストレスがかかったりする場合もあります。そういうときは、風邪を引いたり体調を崩したりしやすいもの。

皆さまにおかれましては、そのようなことがないよう、お元気に過ごしてください。



祈年祭(春祭り) 無事齋行

去る三月十三日、淀姫神社春の大祭である「祈年祭」(春祭り)が、淀姫神社氏子総代会主催にて齋行されました。今回はその模様をご紹介します。

◆平成29年 淀姫神社春季大祭(春祭り)

前日まではよい天気で、過ごしやすい日が続いていたのですが、当日はあいにくの雨。皆さまには足下が悪いなか、ご来社くださいますこと誠にありがとうございました。

当日御助成いただいた神職さんは、調川町天満神社宮司の中山政治さん、御厨町姫神社宮司の森川典幸さん、今福町今福神社宮司の早田伸次さんのお三方でした。

お祭りは、副斎主によるお祓いお清めの儀である「修祓」から始まります。お供え物や神職さんをお祓いたのち、お集まりいただいた皆さま方をお祓いします。ご神前の御扉をお開けしてお供え物を捧げて、斎主である淀姫神社宮司による祝詞が奏上されました。祈年祭では、この一年の皆さま方並びに氏子地区の無事息災と安寧を祈念するとともに、長寿のお祝いや金婚のお祝いの祝詞



も併せて奏上されます。また、御助成いただいた神職さんにより、平戸神楽が三番奉納されました。

玉串は、まず斎主である宮司がご神前に奉納し、続いてこのお祭りの主催者である淀姫神社氏子総代会会長が奉納し、皆さま方からのますますの無事息災と長寿繁栄を祈りました。

各地区代表の方に続いては、今年88歳の米寿を迎えられた方、77歳の喜寿を迎えられた方の中からのご代表が玉串を捧げてご拝礼くださいました。

お供え物をお下げして、ご神前の御扉をお閉めして、祈年祭の祭典はとどこおりなく納められました。祭典終了ののち、米寿・喜寿を迎えられた皆さま方に、淀姫神社氏子総代会よりお祝い状が贈呈されました。

今年氏子地区内で米寿を迎えられた方は十三名さま、喜寿を迎えられた方は十名さまでした。

皆さまにおかれましては、ますますご壮健にて長寿であらせられることをお祈り申し上げます。



淀姫神社インターネット公式サイト「淀姫神社WEB」 <http://yodohimejinja.com/>

各種最新情報・blog「淀姫日記」にて「お祭りレポート」などなど、内容盛りだくさんでお送りしています。ぜひともチェックしてくださいませ。